

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校

校長
酢谷昌義



感謝の気持ちを込めて音楽発表

す。また、多くの方に支えて
いただいていることを忘れる
ことなく、これからも子ども
達とともにいろいろなことに
挑戦していきたいと思ひます。



たくさんのお客様が見えました

スクールバス贈呈式

中間休みを利用して、カタールガスからいただいたスクールバスの贈呈式を行いました。カタールガスからは、広報部長のマンズール様他3名の役員の方がお見えでした。また今回のスクールバス寄贈のためにご尽力いただいた丸紅の岩田支店長様はじめ、新村参事官様・秋山日本人会長様・田中運営理事長様にもご出席いただきました。その上、日本人会役員会・運営理事会理事の皆様にも多数ご出席いただき、立派な贈呈式にすることができました。

上に素晴らしい音楽発表を披露してくれました。

贈呈式後、皆さんの雑談の中で「子ども達の発表がとても素晴らしかった！」と、何人もの方から誉めていただきました。子ども達の頑張りが、見ている方にも伝わったものとても嬉しく思いました。

式の中では、子ども達一人一人が書いたお礼を代表の言葉とともに渡し、全員で心を込めた音楽発表を行いました。

最後に、いただいたバスをバックにみなさんと一緒に記念撮影を行いました。

バスをいただいたことはもちろん、子ども達に貴重な発表の場を与えていただいた皆様に、心から感謝申し上げます

お客様が多いのはドーハ日本人学校の特徴でもあります。今回は本当に多くの方がお見えになり、子ども達もずいぶん緊張した様子でした。しかし、そんな中でいつも以



マンズール広報部長のあいさつ

十一月の詩
○小学部高学年

「どこにも秋がある」
サトウハチロー

誰かを呼ぶ手に 秋がある
答える返事に 秋がある
流れる小川に 秋がある
浮いてる木(こ)の葉に 秋がある
友と唄う 友と唄う 秋がある
その唄声にも 秋がある

遠くのけむりに 秋がある
消えてく匂いにも 秋がある
ただよう匂いにも 秋がある
静かにしみこむ 秋がある
友と仰ぐ 友と仰ぐ 秋がある
その青空にも 秋がある

ゆれてるすすきに 秋がある
さらりとして 秋がある
とびたつイナゴに 秋がある
さびしいみどりの 秋がある
友と歩く 友と歩く 秋がある
その足音にも 秋がある

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校

校長
酢谷昌義



音楽は貴重な表現力育成の場面

言語活動の充実を目指して

学習指導要領改訂のポイントとして、もう1つお知らせしておかなければならないことがあります。それは「言語活動の充実」についてです。

言語活動は、知的活動（理論や思考）・コミュニケーション・感性や情緒の基盤となるものです。そして子ども達の思考力・判断力・表現力等をはぐくむためには、以下のような学習が必要になります。

- 体験から感じ取ったことを表現する。
- 事実を正確に理解し伝達する。
- 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
- 情報を分析・評価し、論述する。
- 課題について構想を立て実践し、評価・改善する。
- 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。

これらは国語科だけで学習するものではありません。それぞれの教科の力をつけてい



昨日のリコーダー演奏の様子

くための言語活動充実なので。そのための手段として、これまで取り入れていた学習方法や慣れ親しんでいることにも、指導する側は自覚的・計画的・意図的に行うということが大切になります。

例えば算数・数学や理科、社会の授業にも各教科の特性を表す記号や用語がいろいろとあります。それらを正しく身につけさせ、きちんと使えるようにすることが求められ

ているのです。ですから国語科をはじめ各教科等において、知識・技能を活用してレポートの作成や論述を行うなどの活動が多く取り入れられるようになってきているのです。

ドーハ日本人学校では、各教科の学習や行事においても言語活動の充実を意識しています。子ども達の思考力・判断力・表現力等を伸ばすための手立てを、今後も工夫していきたいと思ひます。

学習発表会に向けて

12月3日の学習発表会に向けて、少しずつ練習にも力が入ってきました。今日は全校英会話の授業が行われ、発表に向けての準備が進められました。

本格的な練習が始まるのは、ハッジホリデーが終わってからになると思ひますが、子ども達は意欲満々といった感じで練習に励んでいました。

子ども達の取り組みの様子等については、これからも折に触れてお知らせしていきたく思ひます。



低学年の発表練習風景

十一月の詩

○中学部

「汚れつちまつた悲しみに」

中原中也

汚れつちまつた悲しみに
今日も小雪の降りかかる
汚れつちまつた悲しみに
今日も風さへ吹きすぎる

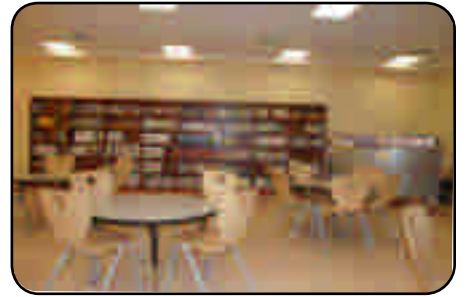
汚れつちまつた悲しみは
たとえば狐の革裘(かわころも)
汚れつちまつた悲しみは
小雪のかかつてちぢこまる

汚れつちまつた悲しみは
なにのぞむなくねがふなく
汚れつちまつた悲しみは
倦怠(けだい)のうちに死を夢む

汚れつちまつた悲しみに
いたいたしくも怖気(おしげ)づき
汚れつちまつた悲しみに
なすところもなく日は暮れる…

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

本棚がほとんど埋まりました

「感謝の気持ち」を大切に

先日「ハッピーのおくりもの」という本をいただいたことを紹介しました。送り主である湯山様に図書寄贈のお礼にあわせ、その後子ども達は何人も本を借りて読んでくれていることなどをお知らせしたところ、次のようなメールが返ってきました。

本のことを気にかけてくださって心より感謝しております。つたない本でも、新しい図書室の本棚に加えていただき、何かのお役に立つことを嬉しく思います。

このようなことを申し上げてはいけないと思うのですが、国内外合わせて100校ほど寄贈しておりますと、どうしても学校の対応の違いを感じてしまうのです。正直なところ、お礼の言葉をくださる方が少ないのです。

特にものの豊かな国内では、ご迷惑なのかもしれないと自信をなくすこともあります。突然お送りしているのですから、それは当然だと思ってお

ります。でも、日本人学校に著名な方が本を寄贈なさったとき大きく取り上げられていて、無名の私には何もなかったときは、とても悲しく思えたことがありました。ですから、なおさら私の思いを受け止めていただけたことが、本当に嬉しく涙がこみ上げてくるのです。

1匹の犬を通して多くのことを学び、1冊の本によってこうして先生・子ども達との嬉しい一期一会の出会いがありました。感謝せずにはいられません。

ご恩は生涯忘れられません。直接お礼が申し上げられなくて残念です。

このメールをいただいたとき、正直私も驚きました。本をいただいたことに対して、お礼の気持ちを表すのは当然のことです。それに対してここまで喜んでくださると思ってもよらないことでした。いろいろなものに恵まれ、何でもしてもらおうことが当たり前

のように感じる人が多い今の時代だからこそ、感謝の気持ちを表すことを忘れてはならないと改めて考えさせられました。

「ありがとう」という言葉には不思議な力があると思います。その言葉を使うと、必ず良いことがはね返ってくるように感じています。

本をいただいた上に温かい気持ちにも触れさせてもらい、とても嬉しくなりました。これからも、今まで以上に感謝の気持ちを大切にしていきたいと思っています。

アラビア語の発表練習

今日は1時間目に、学習発表会で行うアラビア語劇と歌の練習がありました。台詞がまだ完全に自分のものになっていないせいか、声の大きさにも自信のなさが現れていたように思いました。低学年の歌には、良く覚えるものだと感心してしまいました。

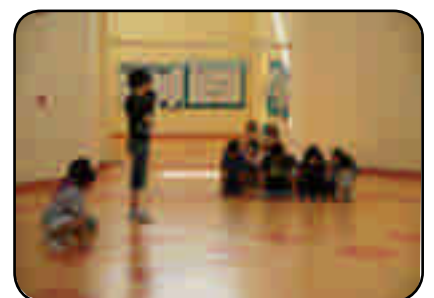
これから練習を積んで、もっともっと素晴らしいものにしてけると期待しています。



本の整理をしめる図書委員



教室で行う朝読書の様子



校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

プレゼントをいただきました

「学校訪問」の感想から

昨日の午前中、ドゥハイル男子校から先生方5名・児童生徒5名の計10名の皆さんが、ドーハ日本人学校の見学にこられました。時間的には、1時間目の途中から3時間目の終わり頃までで、熱心に各クラスの授業の様子を参観されたり、学校運営についての質問をされたりしました。

どうして日本人学校を訪問しようと思われたのかを聞くと、日本の文化・子どもの教育やしつけに関して興味があり、学ぶべきところがたくさんあるからということでした。しかし、日本人学校ができていたということを最近まで知らなかったそうです。5人の先生方の中に、以前日本人学校で働きたいと言ってこられた方がおられ、その方を通して日本人学校のことを知り、ぜひ見学をしたいということになったようです。その方は日本人学校での働き口はなかった訳ですが、違う形でつながっているということに不思議な縁を感じました。



アラビア語の歌を聞いてもらったよ

見学に来られたときにちょうどアラビア語の発表練習をしていて、皆さんとても興味深く見つめておられました。練習をしていた子ども達も、思わぬお客さんに驚いた様子でしたが、自分たちのアラビア語が理解してもらえるのかどうかを確かめる良い機会になりました。

見学に来た子ども達の感想がとても印象的でしたので紹介します。

○どうしてあんなに静かにきちんと授業を受けることができるのか。

○授業中の姿勢がよい。

○ルールを守っている。

これらは、日本の学校では当然のこととして誰もが身につけていることで「学習規律」とよばれるものです。この学習規律が守られているということが、集団での授業が成立する大前提です。

ところが、この点が日本国内でも当然とは言えない状況が徐々に現れてきています。きちんと席に着いていること



やってきた5人の子ども達と

ができない、周囲の状況に合わせた行動ができない等、自分勝手な行動を押さえられない子どもが少しずつ増えているのです。

もともと子どもというのはそういうものですが、集団生活の中で自然と身につけていくものです。それが学年が進んでもなかなか身につけられないとなると、授業にも支障を来すようになります。

そういう基本的な面でも、子ども達の姿が良い印象と影響を与えたことは、とても素晴らしいと思います。

「雷雨」の影響で

久しぶりの雷雨で今回も校舎への影響がありました。雨漏りが壁を伝い汚れてしまったり、停電になったりしました。雨の影響は、校舎の不具合に直接つながる恐れが大きくとても心配です。

子ども達の学校生活に影響が出ないように、安全な環境を整えることには日頃から気をつけていきたいと思っています。



壁を伝った雨漏りの跡